

日本テキスタイルデザイン協会主催  
桐生産地見学会

- 開催日時：10月 24 日（金）新宿8:00-20:30新宿解散
- 参加者：28名

理事長の積極的な勧誘もあり定員28名乗りのバスが丁度定員数参加されました。当日は穏やかな秋晴れの天気にも恵まれ、最先端の産地技術の見学会もさること、行き道の車中で、杉山氏による2003-04 FW(仏)maison&objec(伊)MACEF のトレンドとベンチャー企業やデザイナーの事業化などオリジナリティーに富んだブースの写真提示によるミニセミナーをおこない、桐生までの2時間を有意義に過ごしました。さらに昼食は丸進(株)会長さんが道楽でやっているラーメンを格安な値段で戴きました。帰りの車中でも理事長自らの司会によって一人3~4分の自己紹介が行われました。

見学会の概要 この日は青山のテピアで「桐生産地素材展」の開催と重なり訪問先の企業も参加しており、最新の商材を見せてもらうことができなかったが、各社共に留守役の方々に熱心な説明を戴いた。

1. ミタショー(株)織物工場 11:00-12:00

■設備：ジャガード織機-レピア

MAV 最大巾210 ・(一分間200回転)

フレックス 最新超高速 最大巾180 ・(一分間400回転)

R-200

■主な商材：

衣料用資材(インテリアは5%程度)-生地巾130~140 ・巾

国内向け95%・輸出5%

■特徴：

●ウール系使いの収縮加工、手間と時間がかかる自然乾燥によって意外な表情の織物が出来る。ポイントは温度管理と時間とのこと。

●異織系使いによる白生機、後染めが多い

元々桐生は先染めの産地であったが、国内産地で生き残るためには少量短納期が求められる。3~4種の異染糸で織ったものを後染めによって先染め調の効果が出せ、少量にも対応できる。

●サンプルの整理、過去の織物見本の保管=財産見本を大切に、古いものから順にヘッダサンプルでみられるようになっている。創業時のスワッチを貼った受注ノートも大切に棚に保管されている。これらの見本を見ると、時代の流れを読みとることが出来る。若い人がこれが素敵と見ているものは古いものであったりする。時間が少なく、ゆっくり見られず残念でした。

2. 丸進(株)刺繍工場 13:00~14:30

■設備：あらゆる刺繍の機械100種以上

工場は3ヶ所 多種多様なミシン工場

最新のコンピューターによる特殊機械

ハンドプリント工場(顔料)

■主な商材：ファッション関連の刺繍を使ったアイテム

ハンドプリントはTシャツの小ロット対応、プリントだけでなくプリント+刺繍やアップケなどブランドの立ち上げやファッションショーのための一枚見本

■特徴：

●特徴の中で一番は、会長のおおらかなで、ラーメンを趣味とする人柄と刺繍に対する思い入れと情熱です。

●100種類を越えるミシンは、随時動かせる状態を保っているとのこと 今ではここにしかないミシンも多い。

●少量対応で一品からでもOK。デザイナーが自分自身で作り来てもよい。

●研修体験や刺繍技能者の育成体制、既に刺繍工場として業界では有名になっている。多くの人を訪れ、学生だけでも年間100名を越える。刺繍を本当にしたい人の受け入れもしています。

(長期研修可・但し宿泊食事費用は自己負担\*詳しくは問い合わせが必要)

